

平成 29 年 度

補正予算提案理由書

一 般 会 計 補 正 予 算 (第 8 号)

国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号)

後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 4 号)

介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)

公共下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)

生活排水処理事業特別会計補正予算 (第 3 号)

笠木簡易水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)

水道事業会計補正予算 (第 4 号)

鹿 児 島 県 曾 於 市

平成29年度曾於市一般会計補正予算（第8号）

平成29年度曾於市一般会計補正予算第8号を提案しますが、今回の補正予算は、それぞれの事業の確定及び執行見込みによる増減が主なもので、歳入については、交付金の追加や事業費の確定等による県支出金や市債等の減額、財源調整による財政調整基金繰入金の減額、収入見込みによる使用料や交付額の確定による普通交付税の追加が主なものです。

歳出については、事業費の確定及び執行見込みによる減額と施設型給付費や活動火山周辺地域防災営農対策事業の追加が主なものです。

歳 入

第8款 国有提供施設等所在市町村助成交付金 383千円の追加
交付額の確定による追加です。

第9款 地方特例交付金 1,366千円の追加
交付額の確定による減収補てん特例交付金の追加です。

第10款 地方交付税 344,073千円の追加
交付額の確定による普通交付税の追加です。

第12款 分担金及び負担金 3,934千円の減額
県営農村振興総合整備事業費分担金や現年発生農地災害復旧費分担金の減額が主なものです。

第13款 使用料及び手数料 1,243千円の追加
収入見込みによる事業系廃棄物処理手数料の追加が主なものです。

第14款 国庫支出金 12,313千円の追加
子ども・子育て支援給付費負担金の追加と農業基盤整備促進事業費補助金の減額が主なものです。

第15款 県支出金 160,013千円の減額
現年発生農業用施設災害復旧費補助金の追加と畜産クラスター事業費補助金の減額が主なものです。

第16款 財産収入 18,866千円の追加
基金利息の確定による各基金利子の増減と市有地売払収入の追加が主なも

のです。

第17款 寄附金 55,150千円の追加
一般寄附金や思いやりふるさと寄附金の追加が主なものです。

第18款 繰入金 542,298千円の減額
財源調整による財政調整基金繰入金の減額が主なものです。

第20款 諸収入 16,768千円の減額
熊本地震災害派遣職員給与等負担金の追加や資源リサイクル畜産環境整備事業負担金の減額が主なものです。

第21款 市債 371,700千円の減額
事業見込みによる県営中山間地域所得向上対策事業の追加や県営畑地帯総合整備事業負担金の減額が主なものです。

歳 出

第1款 議会費 11,345千円の減額
執行見込みによる減額です。

第2款 総務費 86,079千円の減額
事業費の確定及び執行見込みによる減額と総務基金管理費の追加が主なものです。

第3款 民生費 13,552千円の追加
事業費の確定及び執行見込みによる減額と施設型給付費の追加が主なものです。

第4款 衛生費 73,977千円の減額
事業費の確定及び執行見込みにより減額しています。

第5款 労働費 1,007千円の減額
事業費の確定により減額しています。

第6款 農林水産業費 472,451千円の減額
事業費の確定及び執行見込みによる減額と活動火山周辺地域防災営農対策事業の追加が主なものです。

第7款 商工費 87,908千円の追加

事業費の確定及び執行見込みによる減額と思いやりふるさと寄附金推進事業の追加が主なものです。

第8款 土木費 156,682千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と土地開発基金費の追加が主なものです。

第9款 消防費 20,539千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と非常備消防費の追加が主なものです。

第10款 教育費 58,741千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と大隅地区運動施設管理費の追加が主なものです。

第11款 災害復旧費 37,855千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額です。

第12款 公債費 155,897千円の追加

平成28年度借入の返済額確定による利子の減額と繰上償還等により元金を追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出661,319千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ22,896,599千円となります。
よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成29年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

平成29年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、交付金等の収入見込みによるもので、歳入については、国庫支出金を119,707千円、県支出金を28,816千円、共同事業交付金を100,080千円、繰入金を11,136千円減額し、国民健康保険税を58,558千円、繰越金を75,063千円、諸収入を23,301千円追加するものが主なものです。

歳出については、交付決定により、介護納付金を2,457千円、共同事業拠出金を127,241千円、執行見込みにより保健事業費を9,040千円減額し、諸支出金を31,123千円追加するものが主なものです。

歳 入

第1款 国民健康保険税 58,558千円の追加

収入見込みにより、国民健康保険税を58,558千円追加しています。

第2款 使用料及び手数料 370千円の追加

収入見込みにより、督促手数料を370千円追加しています。

第3款 国庫支出金 119,707千円の減額

国庫負担金は、収入見込みにより、療養給付費負担金を39,719千円、高額医療費共同事業負担金を11,270千円減額するものが主なものです。

国庫補助金は、普通調整交付金を61,178千円減額するものが主なものです。

第4款 療養給付費等交付金 12,527千円の減額

交付決定により、療養給付費等交付金現年度分を25,108千円減額し、療養給付費等交付金過年度分を12,581千円追加しています。

第5款 前期高齢者交付金 1,322千円の追加

交付決定により、前期高齢者交付金現年度分を1,322千円追加しています。

第6款 県支出金 28,816千円の減額

県負担金は、収入見込みにより、高額医療費共同事業負担金を11,270千円減額し、特定健康診査等負担金を730千円追加しています。

県補助金は、普通県調整交付金を18,276千円減額しています。

第7款 共同事業交付金 100,080千円の減額

交付決定により、高額医療費共同事業交付金を70,669千円、保険財政共同安定化事業交付金を29,411千円減額しています。

第9款 繰入金 11,136千円の減額

収入見込みにより、一般会計からの保険基盤安定繰入金を7,566千円、事務費繰入金を1,332千円、財政安定化支援事業繰入金を1,613千円、人件費繰入金を625千円減額しています。

第10款 繰越金 75,063千円の追加
前年度繰越金を75,063千円追加しています。

第11款 諸収入 23,301千円の追加
延滞金・加算金及び過料は、収入見込みにより、過年度分保険税延滞金を3,499千円追加しています。
雑入は、国保連合会一般会計積立資産返還金を18,975千円追加するものが主なものです。

歳 出

第1款 総務費 1,765千円の減額
執行見込みにより、一般管理事務費を751千円、総務職員給を625千円、運営協議会費を222千円、趣旨普及費を167千円減額しています。

第2款 保険給付費 2,530千円の減額
執行見込みにより、審査支払手数料を1,780千円、一般被保険者高額介護合算療養費を700千円減額するものが主なものです。

第3款 後期高齢者支援金等 1,720千円の減額
事業費決定により、後期高齢者支援金を1,720千円減額しています。

第4款 前期高齢者納付金等 23千円の追加
事業費決定により、前期高齢者納付金を23千円追加しています。

第6款 老人保健拠出金 45千円の減額
事業費決定により、老人保健事務費拠出金を35千円減額するものが主なものです。

第7款 介護納付金 2,457千円の減額
事業費決定により、介護納付金を2,457千円減額しています。

第8款 共同事業拠出金 127,241千円の減額
事業費決定により高額医療費拠出金を45,080千円、保険財政共同安定化事業拠出金を82,161千円減額しています。

第9款 保健事業費 9,040千円の減額
執行見込みにより、特定健康診査事業費を3,726千円、疾病予防費を2,470千円、保健衛生普及費を2,844千円減額しています。

第11款 諸支出金 31,123千円の追加
執行見込みにより、償還金を31,123千円追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出113,652千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ6,826,317千円となります。
よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成29年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

平成29年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、今後の執行見込みによるもので、歳入については、後期高齢者医療保険料を19,676千円追加し、一般会計繰入金を11,398千円減額するものが主なものです。

歳出については、執行見込みにより、後期高齢者医療広域連合納付金を12,893千円追加するものが主なものです。

歳 入

第1款 後期高齢者医療保険料 19,676千円の追加
収入見込みにより、現年度分特別徴収保険料を7,921千円、現年度分普通徴収保険料を11,110千円追加するものが主なものです。

第2款 使用料及び手数料 56千円の追加
収入見込みにより、現年度分督促手数料を42千円追加するものが主なものです。

第3款 繰入金 11,398千円の減額
交付決定により、保険基盤安定繰入金を11,060千円、人件費繰入金を338千円減額しています。

第4款 繰越金 4,168千円の追加
前年度繰越金を4,168千円追加しています。

第5款 諸収入 53千円の追加
収入見込みにより、過年度分延滞金を53千円追加しています。

歳 出

第1款 総務費 338千円の減額
執行見込みにより、後期高齢者医療総務職員給を338千円減額しています。

第2款 後期高齢者医療広域連合納付金 12,893千円の追加
執行見込みにより、後期高齢者医療広域連合納付金を12,893千円追加しています。

以上で概要の説明を終わりますが、歳入歳出12,555千円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ586,329千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成29年度曾於市介護保険特別会計補正予算（第4号）

平成29年度曾於市介護保険特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、保険給付費等の執行見込みによるもので、歳入については、保険料を20,602千円、繰越金を87,152千円追加し、国庫支出金を34,698千円、支払基金交付金を38,771千円、県支出金を1,153千円、繰入金を2,852千円減額するものが主なものです。

歳出については、執行見込みにより総務費を10,274千円、保険給付費を3,600千円、地域支援事業費を10,934千円減額し、予備費を56,311千円追加しています。

歳 入

第1款 保険料 20,602千円の追加

収入見込みにより、現年度分特別徴収保険料を20,602千円追加しています。

第3款 国庫支出金 34,698千円の減額

収入見込みにより、介護給付費負担金を800千円、調整交付金を30,289千円減額するものが主なものです。

第4款 支払基金交付金 38,771千円の減額

収入見込みにより、介護給付費交付金を36,975千円、地域支援事業支援交付金を1,796千円減額しています。

第5款 県支出金 1,153千円の減額

収入見込みにより、介護給付費負担金を500千円、地域支援事業交付金（介護予防・日常生活総合事業）を925千円減額し、高齢者元気度アップ・ポイント事業補助金を1,150千円追加するものが主なものです。

第6款 繰入金 2,852千円の減額

収入見込みにより、地域支援事業繰入金（介護予防・日常生活総合事業）を925千円、地域支援事業繰入金（介護予防・日常生活総合事業以外の総合事業）を878千円減額するものが主なものです。

第7款 繰越金 87,152千円の追加

前年度繰越金を87,152千円追加しています。

第8款 諸収入 1,355千円の追加

返納金を1,305千円、雑入を50千円追加しています。

第9款 分担金及び負担金 132千円の減額

地域支援事業負担金を132千円減額しています。

歳 出

第1款 総務費 10,274千円の減額

執行見込みにより、介護保険総務職員給を9,725千円、計画策定委員会費を549千円減額しています。

第2款 保険給付費 3,600千円の減額

執行見込みにより、特例居宅介護サービス給付費を1,600千円、審査支払手数料を1,600千円、特例特定入所者介護サービス費を400千円減額しています。

第3款 地域支援事業費 10,934千円の減額

執行見込みにより、認知症対応型共同生活介護事業所の家賃等助成事業を3,000千円、住民主体型訪問介護事業を2,835千円減額するものが主なもので、介護予防普及啓発（元気度アップ・ポイント）事業を2,170千円追加しています。

第7款 予備費 56,311千円の追加

財源調整により、予備費を56,311千円追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出31,503千円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ5,649,599千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成29年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）

平成29年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、事業費の確定によるもので、歳入については、繰入金を5,802千円、市債を9,300千円減額し、繰越金を5,044千円、諸収入を4,468千円追加しています。

歳出は、執行見込みにより公共下水道事業費を5,590千円減額しています。

歳 入

第4款 繰入金 5,802千円の減額

事業費の執行見込みにより、一般会計繰入金を5,802千円減額しています。

第5款 繰越金 5,044千円の追加

前年度繰越金を5,044千円追加しています。

第6款 諸収入 4,468千円の追加

収入見込みにより、消費税還付金を4,468千円追加しています。

第7款 市債 9,300千円の減額

事業費の執行見込みにより、資本費平準化債を9,300千円減額しています。

歳 出

第1款 公共下水道事業費 5,590千円の減額

執行見込みにより、下水道総務費を5,160千円、下水道総務職員給を221千円減額するものが主なものです。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出5,590千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ180,512千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成29年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算（第3号）

平成29年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算第3号を提案しますが、今回の補正予算は、事業費の確定によるもので、歳入については、分担金及び負担金を2,597千円、市債を20,500千円減額し、使用料及び手数料を618千円、繰越金を2,344千円追加するものが主なものです。

歳出については、生活排水処理事業費を23,611千円、公債費を505千円減額し、総務費を1,396千円追加しています。

歳 入

第1款 分担金及び負担金 2,597千円の減額

収入見込みにより、浄化槽設置工事分担金現年度分を2,599千円減額するものが主なものです。

第2款 使用料及び手数料 618千円の追加

収入見込みにより、浄化槽使用料過年度分を433千円追加するものが主なものです。

第4款 県支出金 542千円の減額

事業費確定により、浄化槽市町村整備推進事業費県補助金を542千円減額しています。

第5款 財産収入 2千円の減額

収入見込みにより、生活排水処理事業基金利子を2千円減額しています。

第6款 繰入金 2,147千円の減額

収入見込みにより、一般会計繰入金を2,147千円減額しています。

第7款 繰越金 2,344千円の追加

前年度繰越金を2,344千円追加しています。

第8款 諸収入 106千円の追加

使用料に係る延滞金を106千円追加しています。

第9款 市債 20,500千円の減額

事業費の執行見込みにより、下水道事業債を20,500千円減額しています。

歳 出

第1款 総務費 1,396千円の追加

執行見込みにより、一般管理事務費を2,176千円追加し、生活排水処理職員給を71千円、施設管理費を709千円減額しています。

第2款 生活排水処理事業費 23,611千円の減額

事業費確定により、施設整備費を23,611千円減額しています。

第3款 公債費 505千円の減額

地方債償還金利子を505千円減額しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出22,720千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ91,619千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成29年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

平成29年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、事業費確定によるもので、歳入については、使用料及び手数料を81千円、諸収入を9,359千円、繰越金を21,901千円追加し、繰入金を358千円減額しています。

歳出については、簡易水道事業費を1,236千円、公債費を358千円減額し、予備費を32,577千円追加しています。

歳 入

第2款 使用料及び手数料 81千円の追加
収入見込みにより、水道使用料滞納繰越分を81千円追加しています。

第3款 繰入金 358千円の減額
事業費の確定により、一般会計繰入金を358千円減額しています。

第4款 諸収入 9,359千円の追加
収入見込みにより、消費税還付金を9,359千円追加しています。

第5款 繰越金 21,901千円の追加
前年度繰越金を21,901千円追加しています。

歳 出

第1款 簡易水道事業費 1,236千円の減額
事業費確定により、簡易水道施設管理費を1,017千円減額するものが主なものです。

第2款 公債費 358千円の減額
事業費確定により、地方債償還金利子を358千円減額しています。

第3款 予備費 32,577千円の追加
財源調整により、予備費を32,577千円追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出30,983千円を追加し、
予算総額は、歳入歳出それぞれ47,413千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成29年度曾於市水道事業会計補正予算（第4号）

平成29年度曾於市水道事業会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、収益的収入については、収入見込みにより、給水負担金を569千円、その他の営業収益を307千円追加するものが主なものです。

収益的支出については、執行見込みにより、原水及び浄水費を8,234千円、消費税及び地方消費税を7,103千円減額するものが主なもので、総係費を3,083千円、減価償却費を2,082千円追加しています。

資本的支出については、執行見込みにより、取水設備改良費を572千円、配水設備改良費を38,380千円減額しています。

収 益 的 収 入

第1款 水道事業収益 2,280千円の追加

収入見込みにより、給水負担金を569千円、延滞金・遅延損害金を307千円、雑収益を1,404千円追加しています。

収 益 的 支 出

第1款 水道事業費用 12,074千円の減額

原水及び浄水費は、執行見込みにより、人件費を392千円、委託料を3,842千円、動力費を4,000千円減額しています。

配水及び給水費は、執行見込みにより、人件費を543千円減額しています。

総係費は、人件費を3,403千円追加し、報償費を320千円減額しています。

減価償却費は、有形固定資産減価償却費を2,082千円追加しています。

資産減耗費は、固定資産除却費を1,000千円減額しています。

支払利息及び企業債取扱諸費は、企業債利息を359千円減額しています。

消費税及び地方消費税は、消費税及び地方消費税を7,103千円減額しています。

資 本 的 支 出

第 1 款 資本的支出 38,952千円の減額

取水設備改良費は、執行見込みにより、工事請負費を572千円減額
しています。

配水設備改良費は、執行見込みにより、工事請負費を38,380千
円減額しています。

よろしくご審議賜りますよう、お願いいたします。